

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	由雄 正恒
主な担当科目	ICTと音楽芸術,クリエイティブ スタディーズ,サウンドプロデュース④,聴音・視唱ソルフェージュ①_C,聴音・視唱ソルフェージュ①_D,電子音響制作特別演習,作曲
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	作曲、電子音響音楽、コンピュータ音楽創作のための指導法の研究(継続) 音楽理論、ソルフェージュの指導法研究(継続)
2024年の教育に関する自己評価	創作に関わる理論と技法の研究を行い、自作品にて実践し、教育に活用した コンピュータ音楽のための授業教材を研究して実践した 聴音ソルフェージュのための授業用課題を研究し実践した
2024年のFD活動に関する自己評価	テーマに基づいた研修を受けることで、教育、指導で大学院と学部授業との連携、学修成果、ICT活用、学生が抱える現状と課題など意識することができた
授業改善のために取り入れた研修内容	大学院と学部連携、ICT活用を意識して授業、レッスンを進行できるよう実践した

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1328 教員名:由雄 正恒

1)アンケート結果に対する所見

ミュージックセオリー(初級):総合満足度は高く、Q4,Q7 が幾分低い、他は平均的な数値。
聴音ソルフェージュ①:聴音を担当。Q4、Q9 が幾分低い、他は平均的な数値。クリエイティブ スタディーズは全体的に平均より低い数値で満足度もあまり思わないが3割。

2)要望への対応・改善方策

ミュージックセオリー(初級)において、理解のために努力目標を持てることができている。この授業は今後の作曲実技においては学力向上に必要最低限の内容である。聴音・視唱ソルフェージュにおいては、聴音は隔週で行われているが、毎回の授業と授業外学修の成果が表れている。聴音・視唱ソルフェージュ①の開講時限がコース必修授業と重なりがあるとの意見があり、これについてはソルフェージュ分科会に報告し検討していただく。クリエイティブ スタディーズは、今年度より授業化され試行錯誤の運用であった。次年度にあたってはアンケートの内容を踏まえつつよりよい授業展開にしていきたいと考えている。

3)今後の課題

授業への ICT の活用を活用し、授業内容の向上と、学生の自発的学習ができるよう課題の選定や実施方法についてさらに研究していく。

以 上